



毎日新聞



北朝鮮の核やミサイル開発をめぐる動き

- 1998年8月 北朝鮮がテポドン1号を発射し、弾頭は三陸沖に着弾
- 2005年2月 北朝鮮が核保有を宣言
- 9月 6カ国協議で、北朝鮮の核放棄を明記した共同声明採択。米国が対北朝鮮金融制裁を発動
- 06年7月 北朝鮮がテポドン2号発射
- 10月 北朝鮮が初の地下核実験実施
- 07年2月 北朝鮮核問題を巡る6カ国協議が、核放棄に向けた初期段階措置などを盛り込んだ共同文書採択
- 7月 北朝鮮が寧辺の核施設の稼働を停止
- 10月 6カ国協議が核施設無能力化と核計画申告履行を明記した共同文書発表
- 08年6月 北朝鮮が核計画を申告。寧辺の原子炉冷却塔を爆破
- 10月 米朝両国が核計画の検証手続きについて合意。米がテロ支援国家指定解除
- 12月 6カ国協議が核廃棄の検証手続きを柱にした文書化に失敗
- 09年 北朝鮮が「人工衛星打ち上げ」と主張する長距離弾道ミサイルを発射
- 4月5日 北朝鮮が6カ国協議離脱と核活動再開の方針を表明。寧辺の国際原子力機関（IAEA）要員に国外退去を通告
- 25日 北朝鮮が使用済み核燃料棒の再処理着手と発表
- 5月25日 北朝鮮が2回目の地下核実験実施
- 6月12日 国連安保理が北朝鮮の核実験に対し、追加制裁決議を採択
- 13日 北朝鮮がウラン濃縮作業に着手すると表明
- 11年 金正日総書記が17日に死去と報道
- 12月19日 30日 金正恩氏が朝鮮人民軍最高司令官就任
- 12年 米朝は、北朝鮮が核実験や長距離弾道ミサイル発射実験の一時停止などに応じ、米国が24万トンの栄養補助食品を提供することで合意したと発表
- 2月29日 4月11日 金正恩氏が朝鮮労働党第1書記に就任
- 13日 北朝鮮が長距離弾道ミサイルを発射したが「失敗」と発表
- 12月12日 北朝鮮が長距離弾道ミサイルを発射し「成功」と発表
- 13年 北朝鮮が3回目の地下核実験実施
- 2月12日 3月5日 北朝鮮が朝鮮戦争休戦協定の白紙化表明
- 8日 北朝鮮が韓国との不可侵合意破棄を宣言
- 4月2日 北朝鮮が寧辺の核施設の再稼働を表明
- 9日 開城工業団地が操業停止
- 15年 戦略潜水艦の弾道ミサイル水中発射実験に成功した、と北朝鮮国営メディアが報道。潜水艦発射弾道ミサイル（SLBM）の開発を初めて認めた
- 5月9日 16年 北朝鮮が4回目の核実験
- 1月6日 2月7日 北朝鮮が「テポドン2号」改良型を発射
- 5月9日 第7回朝鮮労働党大会で金正恩氏を委員長に推戴決定
- 6月22日 北朝鮮が「ムスダン」とみられる中距離弾道ミサイル2発発射
- 8月24日 北朝鮮がSLBMを発射
- 9月5日 北朝鮮がノドンとみられるミサイル3発を発射。いずれも約1000km地点に着弾
- 9日 北朝鮮が5回目の地下核実験実施
- 17年 金委員長が新年の辞で「大陸間弾道ミサイル（ICBM）発射実験の準備が最終段階に入った」と言明
- 1月1日 3月6日 北朝鮮が弾道ミサイル4発を日本海に向けてほぼ同時に発射
- 4月5日 北朝鮮が日本海に向けて弾道ミサイル1発を発射。60km地点に着弾
- 8日 米海軍が空母「カール・ビンソン」の航路を変更し、朝鮮半島近海へ派遣
- 15日 平壤で北朝鮮が軍事パレード
- 16日 弾道ミサイル発射、失敗
- 29日 弾道ミサイル発射、失敗
- 5月14日 新型の中距離「火星12」発射、高度2000kmを超
- 21日 「北極星2」を発射
- 29日 「スカッド」改良型発射、日本の排他的経済水域（EEZ）内に落下
- 6月8日 新型巡航ミサイル発射
- 7月4日 弾道ミサイル発射、約930km飛行し日本のEEZ内に落下。ICBM「火星14」の試験発射に成功したと発表
- 28日 夜にICBM「火星14」の発射実験を実施。約1000km飛行し日本のEEZ内に落下
- 8月5日 国連安全保障理事会が石油を除く大規模禁輸などの制裁決議を全会一致で採択
- 9日 北朝鮮が日本上空を越えて米領グアム沖に中距離弾道ミサイル4発を同時に発射する計画を明かす
- 29日 北朝鮮が弾道ミサイル発射、北海道・襟裳岬上空を通過し太平洋上に落下

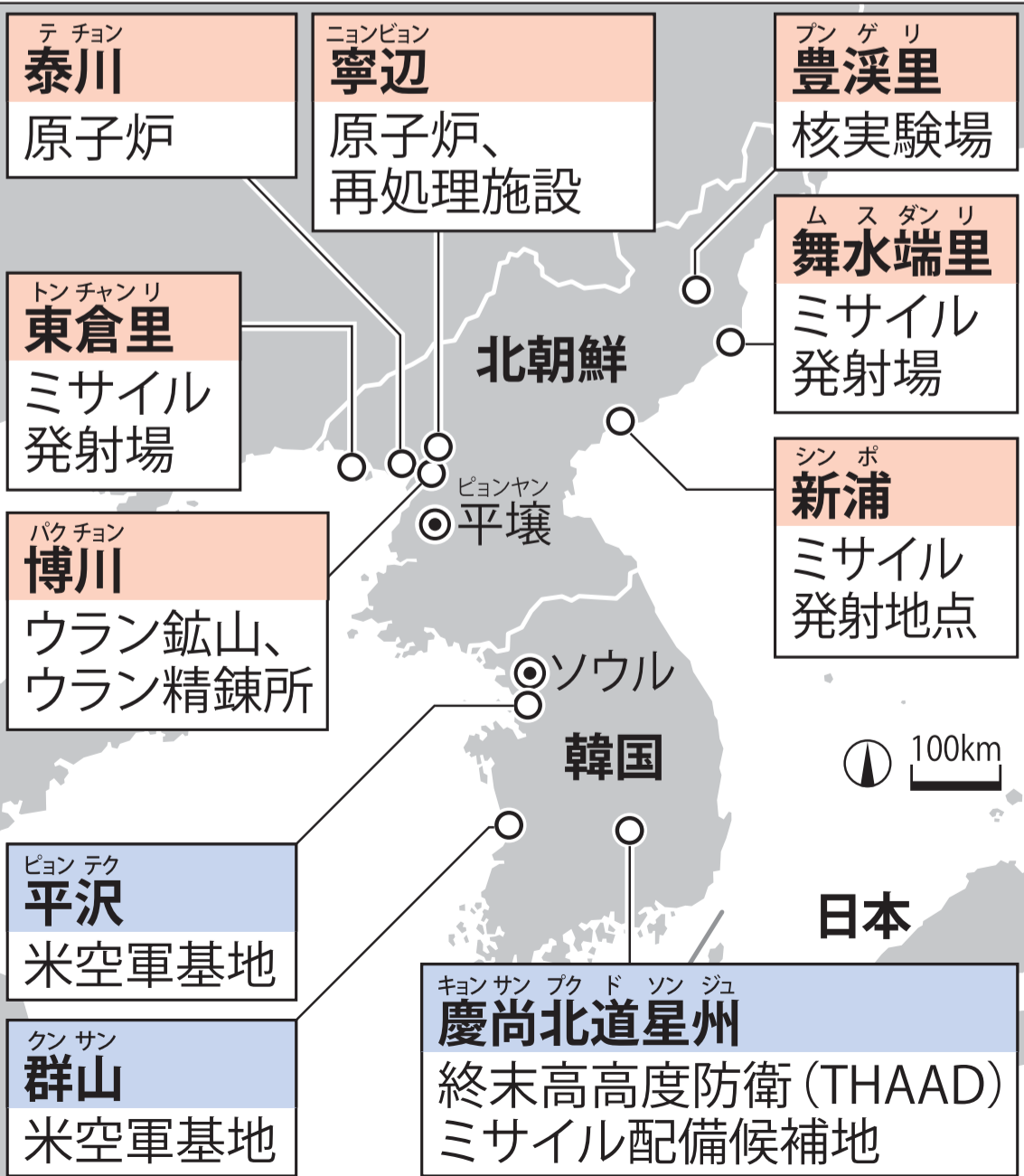
やまぬ挑発



米韓合同軍事演習について、質問に答えるハリス米太平洋軍司令官(中央) ソウル近郊の烏山で8月22日、ロイター

朝鮮半島の主な軍事施設と核施設

※ロイター通信などによる



新型の地对地中長距離弾道ミサイル「火星12」の試射—5月14日、朝鮮中央通信・朝鮮通信